

第 71 回 社団法人日本循環器学会総会 議事録

日 時 2007 年 (平成 19 年) 3 月 16 日 (金) 13 時 50 分～14 時 20 分
場 所 神戸ポートピアホテル (第 1 会場 ポートピアホール)
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-10-1
TEL : 078-302-1111 (代表)

代表正会員数 420 名
出席代表正会員数 333 名 (内委任状出席 202 名)

議 事

I. 総会議事

- 第 1 号議案 : 2006 年度事業報告
- 第 2 号議案 : 2005 年度収支決算報告 (追認)
- 第 3 号議案 : 2006 年度収支予算の修正
- 第 4 号議案 : 2007 年度事業計画及び収支予算承認
- 第 5 号議案 : 2008 年度就任評議員・正会員代表選挙
- 第 6 号議案 : 定款施行細則変更
- 第 7 号議案 : 2007 年度新評議員・新正会員代表の選任
- 第 8 号議案 : 新名誉会員・新特別会員の報告
- 第 9 号議案 : 循環器専門医制度について
- 第 10 号議案 : 委員会報告
- 第 11 号議案 : 第 72 回学術集会会長挨拶・第 73 回学術集会会長の承認
- 第 12 号議案 : その他

II. 授賞式

日本心臓財団佐藤賞, Young Investigator's Award, 国際留学生 Young Investigator's Award, 八木賞, CPIS 賞, 高安賞, 心臓血管外科賞, 小児循環器賞, 循環器再生医科学賞, Circulation Journal Award

I. 総会議事の経過及び結果

定刻になり、定数を満たした旨報告があり、定款第 30 条の定めにより第 71 回横山光宏会長が議長となり開会。資料の確認後、資料にある 24 名の物故会員に対し、黙祷が捧げられた。

続いて議長から議事録署名人に山口徹、松崎益徳両理事を指名し了承され、議事に入った。

第 1 号議案 : 2006 年度事業報告

議長より、2006 年度における事業の概要について、資料のとおり報告され、承認された。

第2号議案： 2005年度収支決算報告（追認）

議長より、議案書15～21ページまでの一般会計、専門医特別会計、学術集会特別会計、支部特別会計及び地方会特別会計の2005年度会計について、昨年6月理事会にて承認され、会告にて会員へ通知している旨報告があり、追認された。

第3号議案： 2006年度収支予算の修正

議長より、当初予算に未計上であった事業収支の予算修正について、議案書22～28ページの通り、今年1月理事会及び前日の評議員会で承認された旨説明があり、追認された。

第4号議案： 2007年度事業計画及び収支予算承認

議長より、議案書29～37ページの2007年度事業計画及び今年1月理事会で承認された議案書32～37ページの2007年度収支予算について説明があり、承認された。

第5号議案： 2008年度就任評議員・正会員代表選挙

議長より、2008年度より就任する評議員および正会員代表の選挙が2007年度に実施されることが説明され、各支部における選挙への協力を依頼された。

第6号議案： 定款施行細則変更

議長より、現職評議員の所属地区変更に伴う規約の制定および現在の実態にあわせるための定款施行細則の変更について資料の通り提案され、承認された。

第7号議案： 2007年度新評議員・新正会員代表の選任

議長より、65歳定年制により2006年度末で退任された評議員・正会員代表に替わって、新しく2007年度より就任する評議員と正会員代表が資料の通り報告され、承認された。

第8号議案： 新名誉会員・新特別会員の報告

議長より、白土邦男先生を名誉会員として、神原啓文・北浦泰・久萬田俊明・高野照夫・松田暉・矢野捷介・山口巖各先生を特別会員として理事会が推薦している旨報告があり、承認された。なお、本年度は偶然特別会員が多く選出されることになったと付言があった。

第9号議案： 循環器専門医制度について

土居委員長より下記の報告があった。

- ①「日本循環器学会認定循環器専門医制度規則」の第3章第12条a-(3)の文言が、「研修カリキュラムに基づく研修が可能な指導體制・設備が整っていること」に変更された。また、第3章第12条b-(3)に「また、自施設でも基本的な研修が可能な設備が整っていること」が追加された。

第10号議案： 委員会報告

次の4委員会より委員会報告が行われた。その他の委員会報告に関しては、資料に掲載されているので見ていただくよう、議長から説明があった。

1) 心配蘇生法委員会

笠貫委員長より下記の報告があった。

- ①学術集会中にAHAとJCS-ITC(International Training Center)の契約を交わすこととなった。
- ②第1回のACLSプロバイダーコースとインストラクターコースを開催中である。
- ③人的、物的システムを確立して2008年度からの専門医試験受験者のACLS必修化を目指したい。これについて6月までに結論を出したい。
- ④心肺蘇生についてのエビデンス発信の役割を担っていることから、心肺蘇生法普及委員会から心肺蘇生法委員会に名称変更した。
- ⑤循環器が抱える救急医療の問題についても実態調査と検討を行いたい。

2) 国際交流委員会

小川委員長より下記の報告があった。

- ①第5回国際留学生YIAを今年度も表彰・授与する。
- ②国際名誉会員としてDr. Spencer B. King III、Dr. Jay N. Cohn、Dr. Kim Foxの3名に授与する。
- ③2006年1月からAPSC事務局をJCS事務局内に設置して、事務局業務を開始している。
- ④APCC2009は北島顕会長で京都で開催する。
- ⑤ヨーロッパ心臓病学会にAffiliate National Societyとして参加する予定である。
- ⑥松森幹事がWHFのSecretary General及びWCCプログラム委員に就任している。また、WCCを2012年もしくは2014年に日本で開催できるよう招致活動を進めている。

3) 編集委員会

松崎委員長より下記の報告があった。

- ①21名のAssociate Editorを中心に、82名のEditorial Board member、19名International Advisory Board member、また多くのReviewerの先生方のお陰により、編集業務は大変順調で滞りなく出版する出来ている。
- ②2007年1月よりオンラインによる投稿・審査システムを導入したことにより、投稿数が急激に増加、現在のところ年間1,000編を越す勢いである。
- ③2005年のImpact Factorは、1.998であり、2006年は更にポイントが上がる事が期待されるが、そのためにも欧文誌に投稿される際には、是非ともCirculation Journalからの引用をお願いしたい。
- ④1号当りの頁数増加の問題等もあり、採択率を40%前後に保ちたいと考えている。

4) 学術委員会

堀委員長より下記の報告があった。

- ①現在まで、33のガイドラインの策定を行っている。
- ②今年度の新規および改訂ガイドラインのダイジェスト版ポケット版を日循広報ブースやガイドラインセッション会場前で配布している。
- ③会員限定で公開していたガイドラインの一般公開を行っている。ガイドラインに関するアンケート調査を行い、今後の活動の参考にしたい。

- ④循環器疾患診療実態調査（主査：土居義典先生）について、2004年実態調査（2004年1月～12月）の集計が冊子としてまとまった。日本循環器学会ホームページに公開し、調査依頼を呼びかけた全国約4000施設にその冊子の配布を行う。今後もこの調査を継続的に行っていく。
- ③厚労省からの依頼により、心室頻拍とうっ血性心不全の2つの項目について重症副作用疾患対応マニュアルを3月末を目途に作成を進めている。

以上の委員会報告および資料に掲載されている他の委員会報告について、一括して承認された。

第11号議案：第72回学術集会会長挨拶・第73回学術集会会長の承認

1) 第72回学術集会報告

松崎益徳会長より下記の報告があった。

会期は2008年3月28日（金）～30日（日）とし、福岡国際会議場を中心に開催する。

2) 第73回学術集会報告

第73回学術集会会長として堀正二先生（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）が承認された。会期を2009年3月20日（金）～22日（土）とし、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルを中心に開催することが報告された。

第12号議案：その他

その他、議案の提起はなかった。

II. 授賞式

総会議事に引き続いて、授賞式が行われた。受賞者は下記の通り。

- ・第32回日本心臓財団佐藤賞
矢野 雅文(山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学)
- ・第24回 Young Investigator's Award
最優秀賞：佐野 雅則（千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学）
優秀賞：佐原 真（東京大学医学部循環器内科）
優秀賞：中神 啓徳（大阪大学大学院医学系研究科未来医療専攻分子治療学系・遺伝子治療学）
優秀賞：福田 大受（東京大学大学院医学系研究科循環器内科）
優秀賞：横山 詩子（横浜市立大学大学院医学研究科循環制御医学）
- ・第16回八木賞
家田 真樹（慶應義塾大学医学部附属病院内科学教室循環器内科）
- ・第15回 CPIS 賞
柴田 玲（名古屋大学循環器内科）
- ・第7回高安賞
福田 祥大（Department of Cardiovascular MedicineThe Cleveland Clinic Foundation）
- ・第2回心臓血管外科賞
田中 正史（自治医科大学附属大宮医療センター心臓血管外科）
- ・第1回循環器再生医科学賞
基礎研究部門：清水 達也（東京女子医科大学先端生命医科学研究所）
- ・第5回国際留学生 Young Investigator's Award
最優秀賞：成 憲武（名古屋大学医学部医学系研究科老年科講座）
優秀賞：權 相模（理化学研究所神戸研究所発生・再生科学総合研究センター）

優秀賞 : Ping Li (名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座 循環器内科学)
優秀賞 : 林 雪 (京都大学医学部附属病院心臓血管外科)

・ 第 3 回 Circulation Journal Award

Clinical Investigation

最優秀賞 : 佐藤政仁 ((医) 立川メディカルセンター立川総合病院循環器内科)

優秀賞 : 辻田賢一 (熊本大学大学院医学薬学研究部循環器病態学)

Experimental Investigation

最優秀賞 : 徳久隆弘 (山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学)

優秀賞 : 山脇英之 (国立循環器病センター腎・高血圧)

以上をもって本日の議事を終了し、議長から長時間の協力を謝辞があり、閉会した。

上記の議事の経過及び結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長並びに議事録署名人、これに署名押印する。

2007 年 3 月 16 日

第 71 回 社団法人日本循環器学会総会

議 長

議事録署名人

同